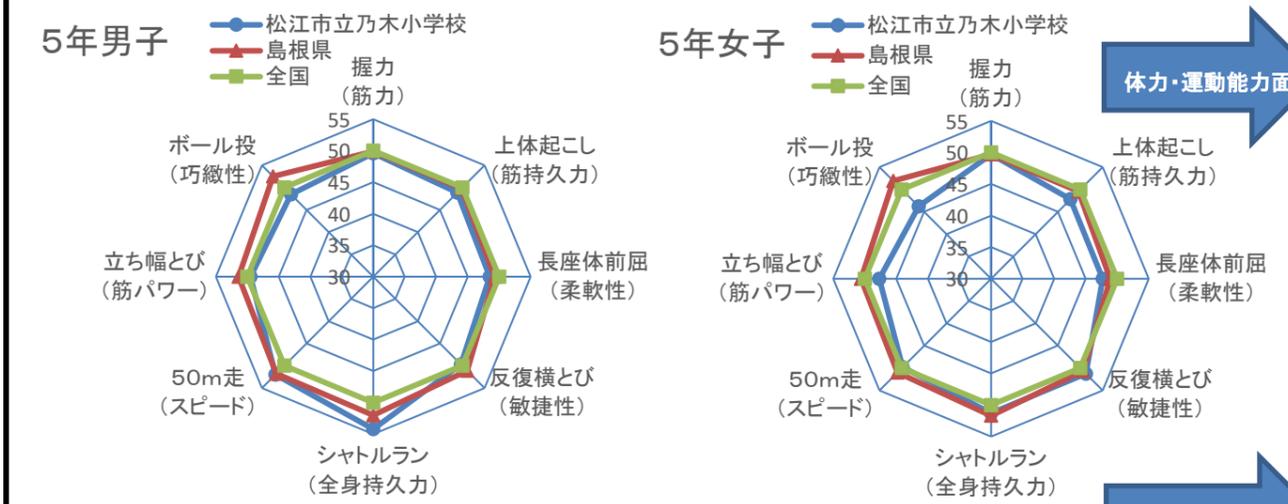
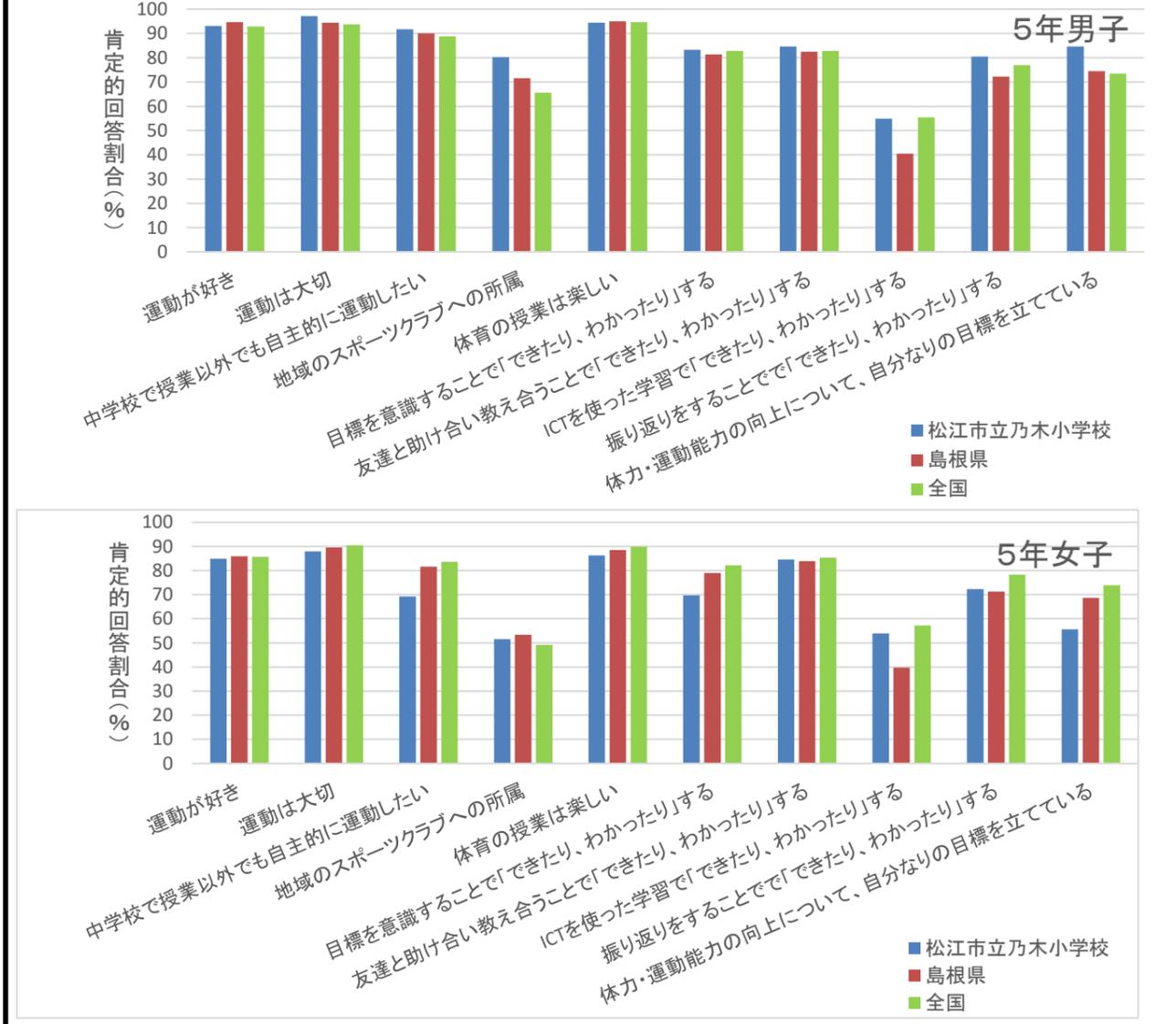


(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-0.4	-1.1	-1.5	-0.3	4.2	2.0	-0.5	-1.5
女子	-0.3	-2.2	-2.3	1.3	1.3	-0.2	-2.3	-3.8

Legend: [-5p以上] (弱み), [-5~-2p], [-2~0p], [0~2p], [2~5p], [5p以上] (強み)

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	0.2	3.4	2.9	14.7	-0.3	0.5	1.9	-0.6
女子	-0.8	-2.5	-14.4	2.3	-3.7	-12.5	-0.7	-3.3
男子	3.5	11.2	振り返りを行うことで「できたり、わかったり」する					
女子	-6.0	-18.3	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている					

Legend: [-7%以上] (弱み), [-7~-3%], [-3~0%], [0~3%], [3~7%], [7%以上] (強み)

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

- 年間を通じた取組
  - 校内研修で投運動につながる運動や遊びを紹介する。ソフトボール投げは、全学年の課題。投運動につながる運動や遊びを紹介し、日常的に投げる動作や感覚を養えるようにする。
- 授業の工夫・改善
  - 単元構成や1時間の授業構成の工夫をする。基礎感覚づくりを取り入れた授業づくりを行い、体系的な取り組みとなるようにする。
- 家庭との連携
  - 一人一人が自身の体力に関心を持ち、目標をもって体力向上に取り組めるように工夫する。体力テストの結果を振り返り、1学期末に家庭へ持ち帰る。運動例を紹介することで長期休業中の体づくりにつなげる。また、2学期以降の自身の体力向上の目標をもてるようにする。